

水辺の事故の現状と分析

～安全・安心に水と親しむために～

調査の背景

各地で水の事故、2人死亡

1分で読む



全国各地で猛暑日となった1日、水の事故が相次ぎ、2人が死亡、1人が行方不明、1人が意識不明の重体となった。

新潟県聖籠町の網代浜海水浴場で午後1時ごろ、「2人が溺れた」と119番があった。同町の中学1年渡辺悠生さん（12）と中学1年の女子生徒が救助されたが、渡辺さんは死亡が確認された。女子生徒は命に別条はないという。海水浴場は海開きの前で、ライフセーバーはいなかった。

福井県あわら市では午後2時20分ごろ、海岸から約10メートルのアルバイト山本政弘さん（46）が沈んでいるのを、一緒に素潜りをした友人が発見。死亡が確認された。

気温上昇、海や川で水難事故相次ぐ…岡山、福井

2018年07月02日

ツイート

G+

Bl 0

気温が上昇した1日は、各地で水難事故が相次いだ。

岡山県総社市秦の高梁川では午後2時頃、水上バイクに乗っていた会社員松浦博さん（39）（広島県福山市）が転落し、行方不明となった。約4時間後、捜索していた警察官が松浦さんとみられる男性を発見し、病院に搬送したが、死亡が確認された。県警総社署によると、松浦さんは午前9時頃から、会社の同僚らと水上バイクで遊んでいた。

福井県あわら市浜坂では午後2時20分頃、海で素潜りをしていた山本政弘さん（46）（福井県丸尾市）が沈んでいるのを、友人が発見。山本さんは搬送先の病院で死亡が確認された。福井県警あわら署は溺死とみて調べている。

水難事故で女性死亡 一宮の海岸

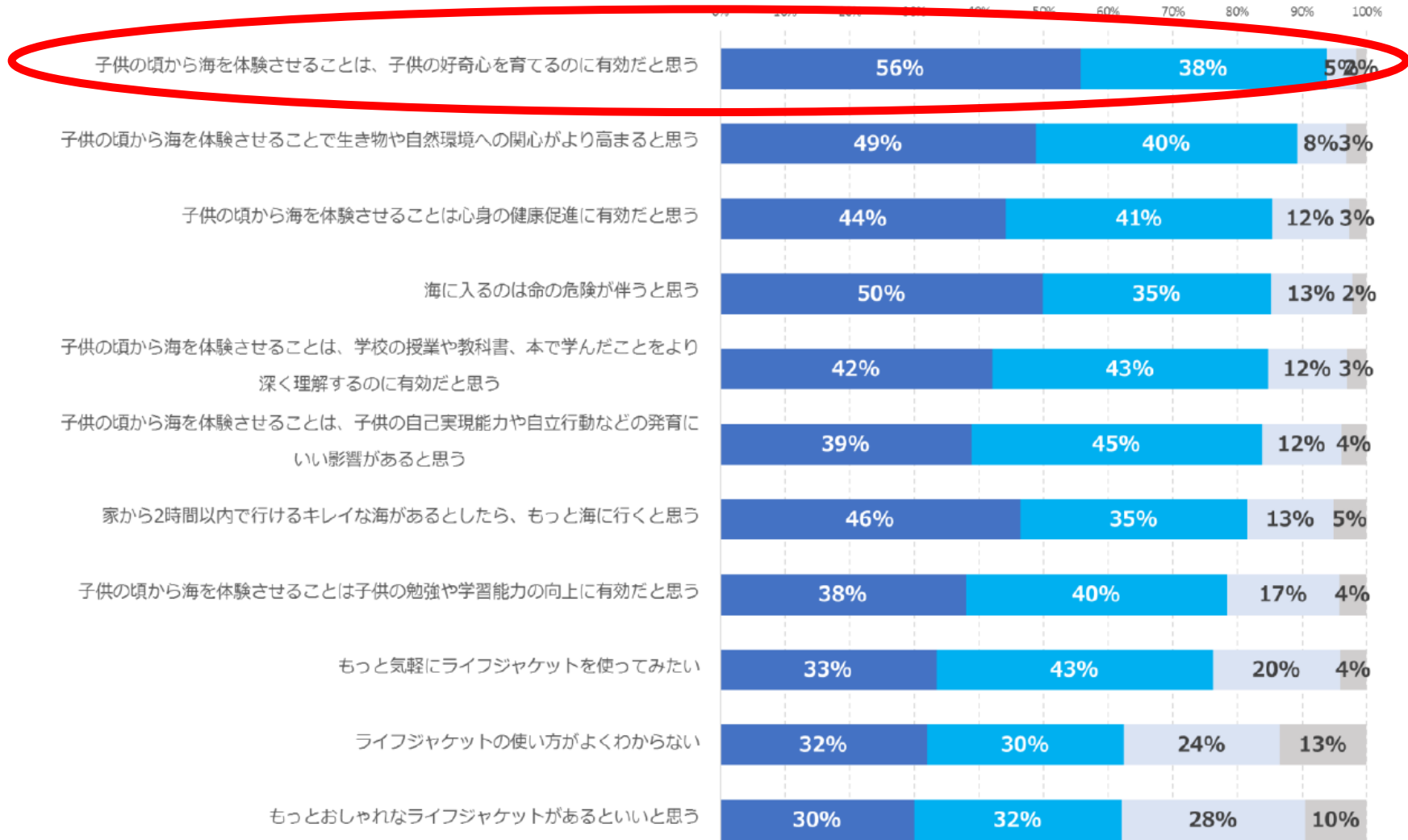
7日午前8時ごろ、一宮町東浪見の海岸で「サーファー（の女性）が溺れ、浜で心肺蘇生中」と男性から119番通報があった。女性は千葉県外に住む20代。搬送先の病院で死亡が確認された。死因は溺死。茂原署はサーフィン中の水難事故とみて原因を調べている。

同署によると、女性は海岸の沖合約50メートルにうつぶせで浮いていて、近くにいたサーファーが見つけたという。ウエットスーツ姿で、近くにはサーフボードも浮いていた。女性は友人と来ていたという。

調査の背景

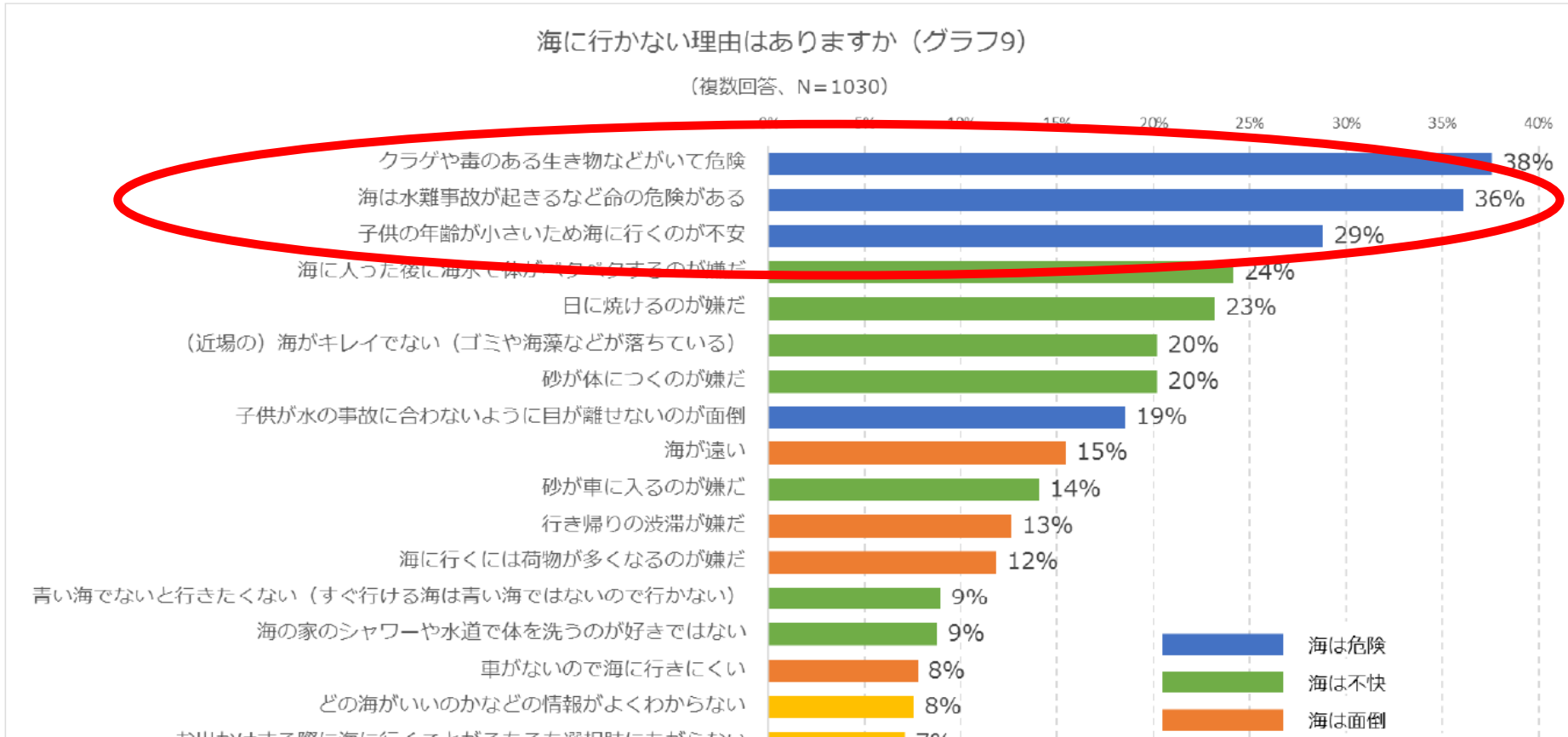
海に対する以下の考えにあなたはどの程度あてはまると思いますか（グラフ）

（単一回答、N=1030）



4. 海で一番気になるのはやはり「子供の安全」が上位。

海に行かない理由を聞いたところ、海洋生物の危険性、海難事故など子供の安全への懸念が上位をしめた。正しい対処法、予防策の啓蒙が必要と思われる(グラフ 9)。



小学生時代に海に行った経験 「平均年1日以下」 10代で6割

(2017年・日本財団調査より)

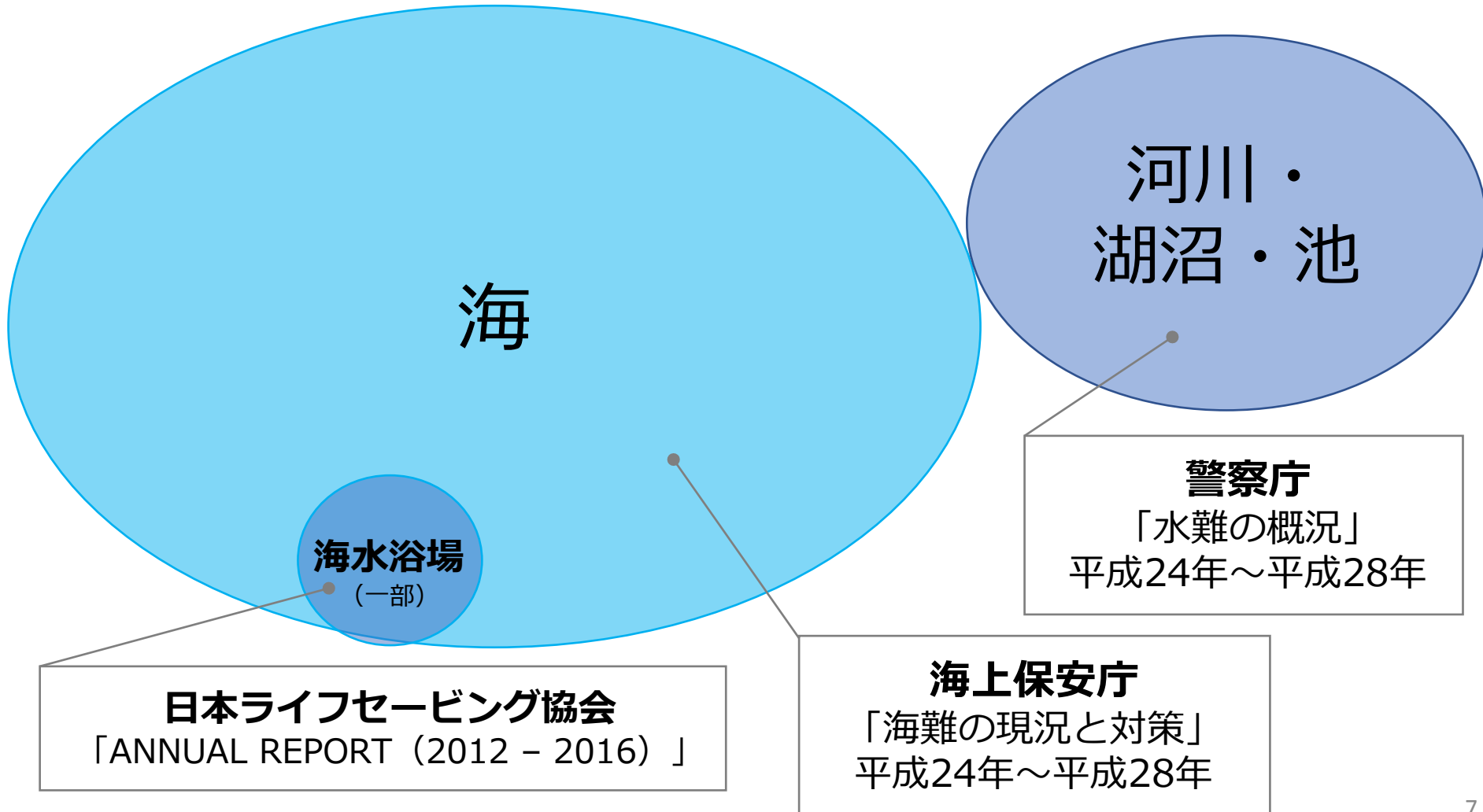


- ・ 水辺の事故に関する報道
- ・ 海は“危険”というイメージ
- ・ 安全に水に親しむ術・知識の不足

今回の分析調査について

分析に使用したデータ

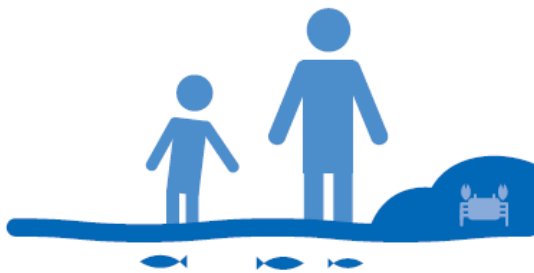
自然環境における水難事故の 統計データの全体像を把握



① マリンレジャー中の事故



遊泳



浜遊び



シュノーケル

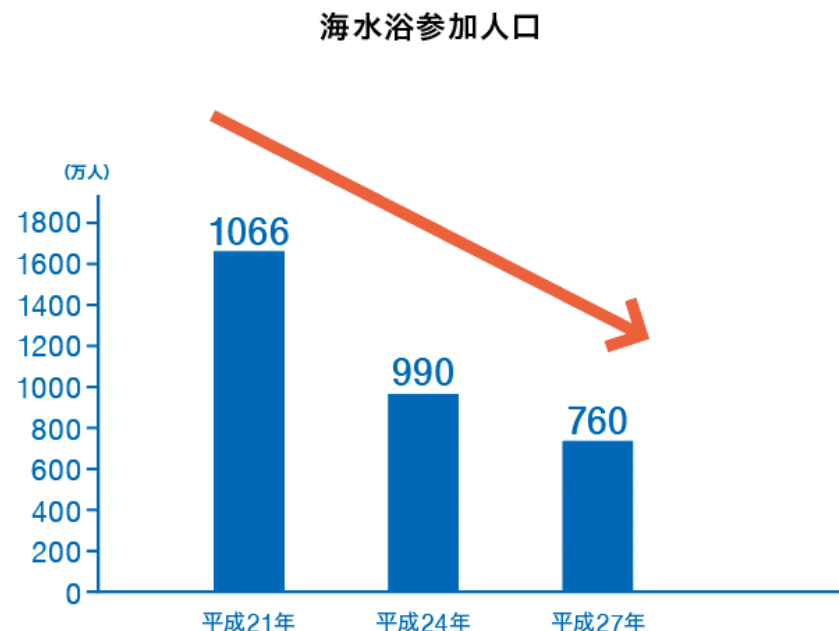
② 散歩中の海中転落など ③ 乗船中の海中転落など



水辺（海）の事故での死亡者数

毎年約1,000人の水辺の死亡事故が発生
うち約700人は海での死亡事故

海水浴客は年々減る一方で、海での死亡事故は横ばい



出典：海データ：海上保安庁「海難の現況と対策」平成24年～平成28年
河川・湖沼池データ：警察庁「水難の概況」平成24年～平成28年

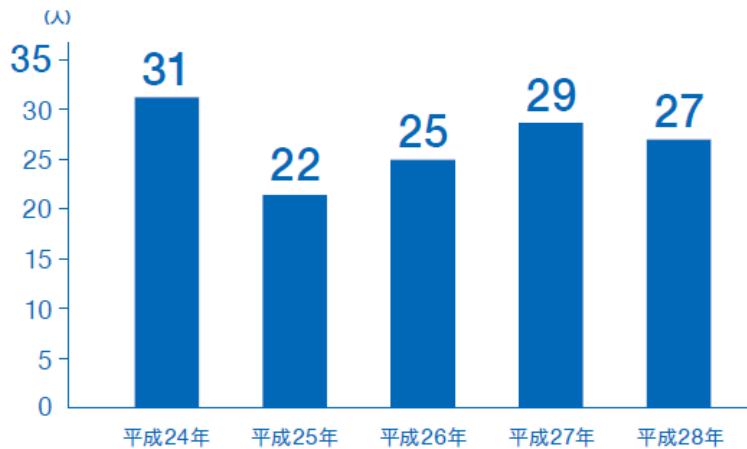
出典：日本生産性本部「レジャー白書」

※河川・湖沼池データ：平成24年-平成27年（2012-2015）は行方不明者も含む（年平均 約14名）

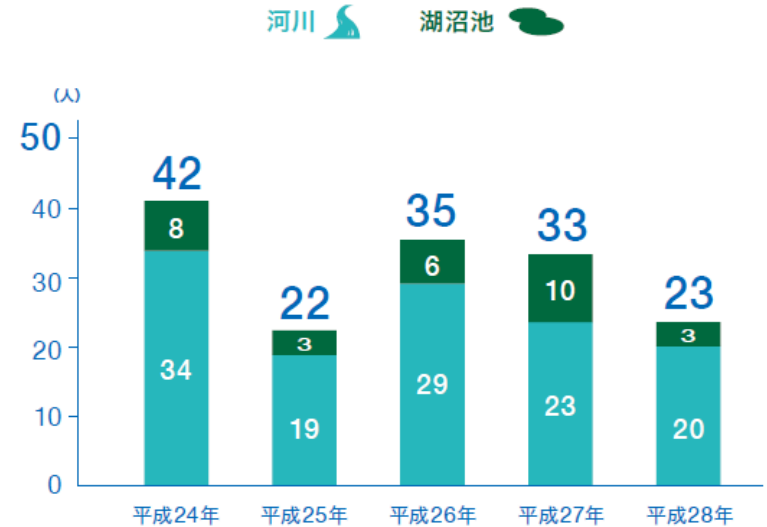
海の事故で亡くなった子どもの人数

過去5年で平均すると、
毎年**約30人**の子どもたちが
海の事故で亡くなっている

海で亡くなった子どもの数



海以外の水辺で亡くなった子どもの数



出典：海上保安庁「海難の現況と対策」

出典：警察庁「水難の概況」

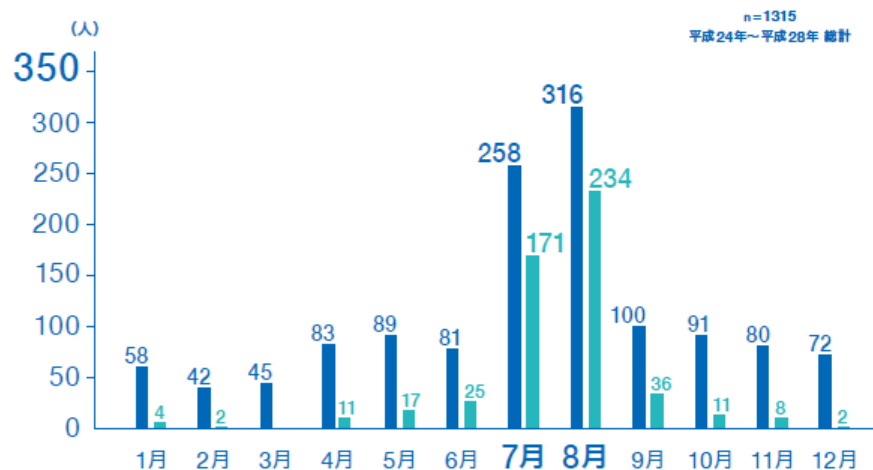
海での事故が多発する時期

毎年7月～8月が要注意

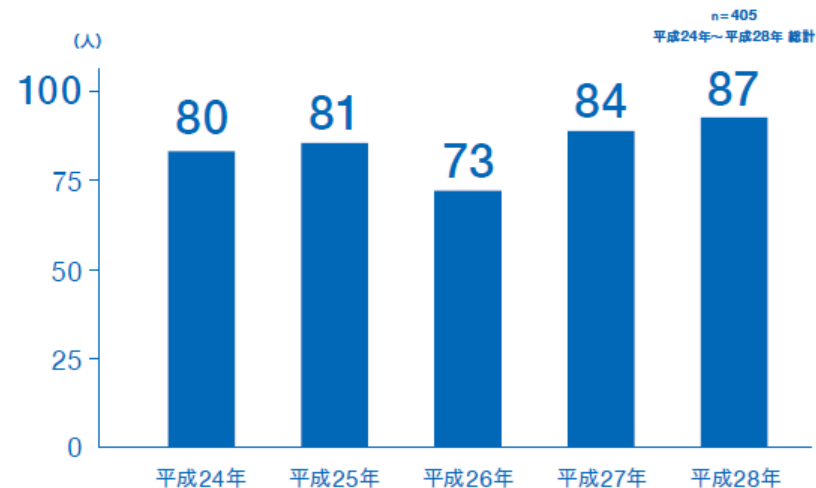
マリンレジャーにとともなう事故は7月～8月に急増する

マリンレジャーにおける事故と遊泳中の事故

マリンレジャーにおける海浜事故 死亡者  遊泳中 死亡者 



7～8月 遊泳中の死亡事故 5年推移



出典: 海上保安庁「海難の現況と対策」平成24年-28 年年総計

海水浴場における年間の救助件数

毎年**2,000件**～**3,000件**の救助事例が報告されている

(ライフセーバーのいる海水浴場は、全国で約15%)

日本ライフセービング協会

溺者への救助件数



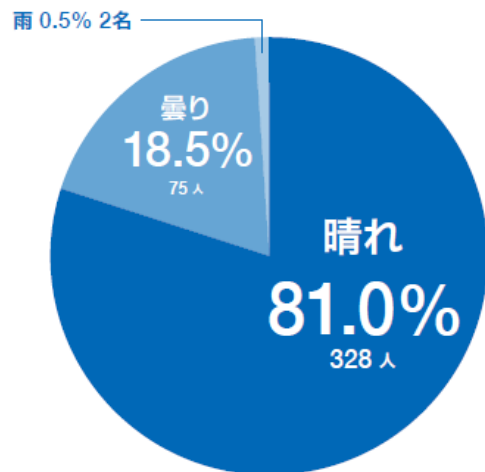
出典：日本ライフセービング協会 ANNUAL REPORT

死亡事故が起きた状況①

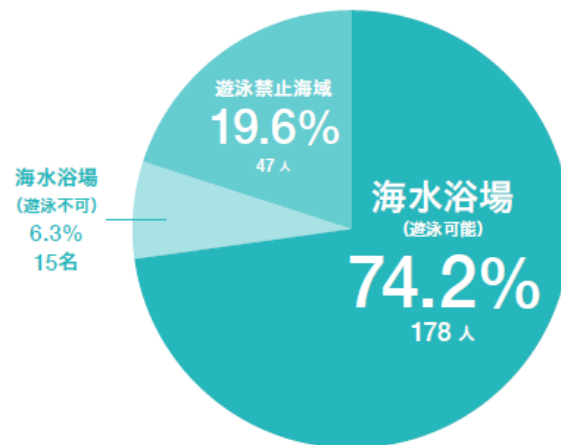
安全そうな状況であっても死亡事故は起きる

「晴れている」「遊泳可能な海水浴場」「複数人での行動」
で死亡事故は起きている

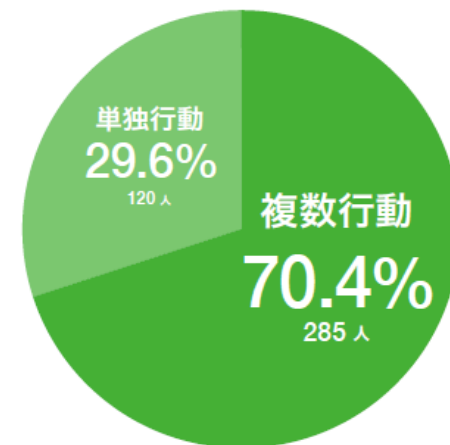
天候



遊泳エリア



単独行動／複数行動



遊泳状況がわかっている欠損なしデータ
240名で検証

海上保安庁「海難の現況と対策」
過去5年（平成24年～28年）7-8月遊泳中の死亡事故405名で検証

死亡事故が起きた状況②

事故は他人事ではない

遊泳禁止区域での遊泳など危険な行動に伴う事故に比べて、一般的な行動下で事故に遭う人のほうが多い

<例>

- ・ 遊泳禁止区域で遊泳
- ・ 遊泳不可の海水浴場で遊泳
- ・ 飲酒をしての遊泳

危険な行動
による事故者

39.0%
158人

一般的な行動下
での事故者

61.0%
247人

<例>

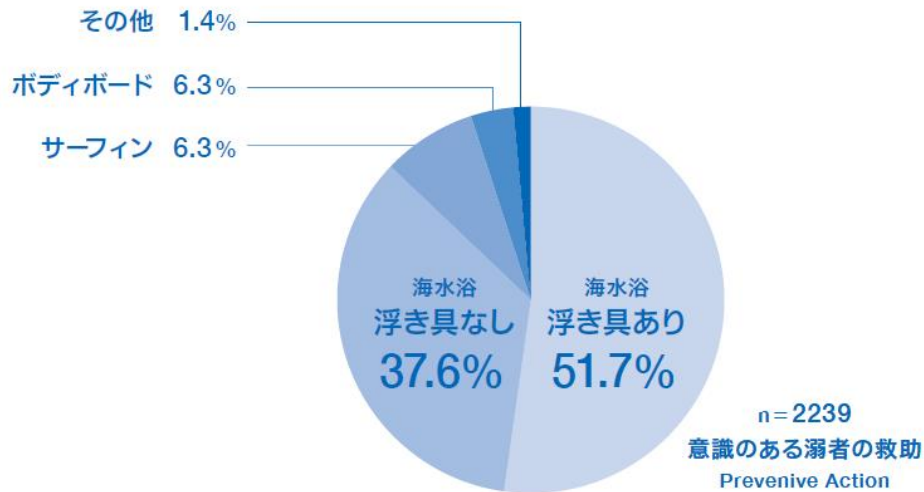
- ・ ぴよんぴよんはねて遊んでいたら深みにはまってしまった
- ・ 泳いでいたら足がつってしまいパニックをおこした
- ・ 泳いでいたら気づかぬうちに離岸流に流された など

データ分析対象：海上保安庁「海難の現況と対策」
過去5年（平成24年～28年）7-8月遊泳中の死亡事故405名で検証

よくある事故事例 — 浮き具 —

「浮き具」がある場合でも事故に遭う
 溺者の半数が「浮き具」がある状態でも事故に遭い、
 救助されている

意識のある溺者の救助状況について



【浮き具例】



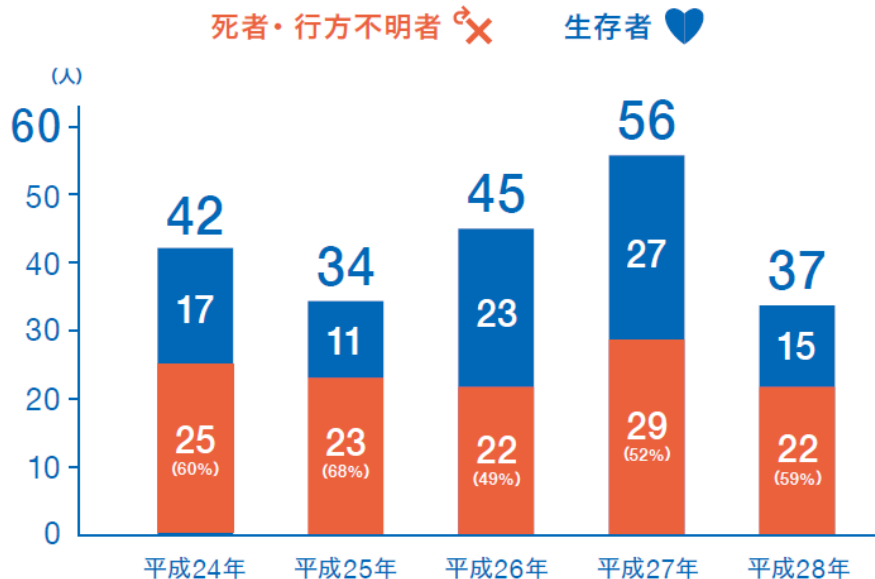
出典: 日本ライフセービング協会 ANNUAL REPORT2016

※2016年、ライフセーバーが活動した日本全国204海水浴場における軽溺者の救助件数

よくある事故事例 – シュノーケル –

シュノーケリング中の事故者数の約半数が死亡／行方不明に
ライフジャケット非着用者が約9割と推察

シュノーケリング中の事故者数の推移



海上保安庁「Summer Report 2017」

<シュノーケルで必ず守るべきこと>

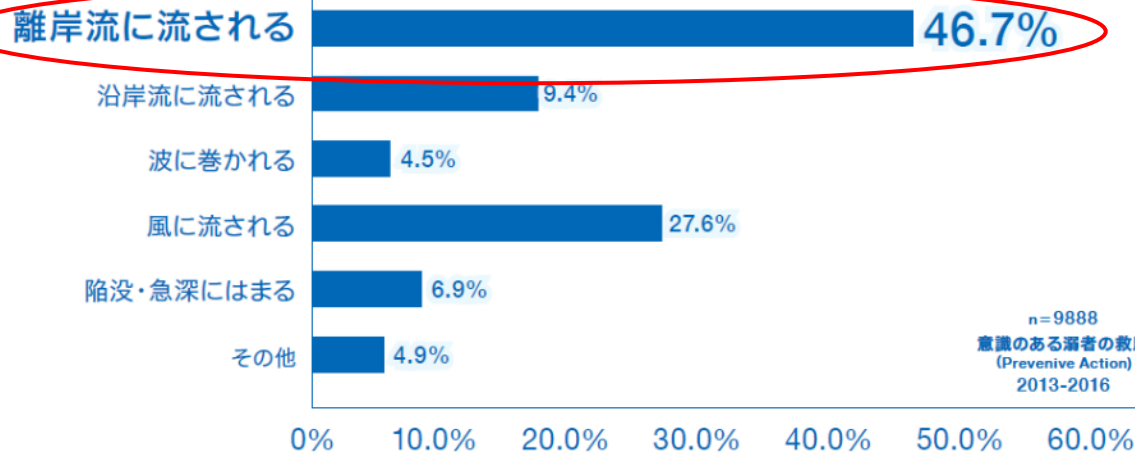
- 4点セット（水中マスク、フィン、シュノーケリング、ライフジャケット）を必ず身に着けること
- シュノーケルクリアなど基本的な技術を見つけてから遊ぶこと
- 複数人で行動すること

よくある事故事例 — 離岸流 —

被救助者の約半数が「離岸流」に流されている

「離岸流」とは、海岸に打ち寄せた波が沖に戻ろうとする時に発生する強い流れのこと
日本のさまざまな海辺で起こる

意識のある溺者の救助 自然要因



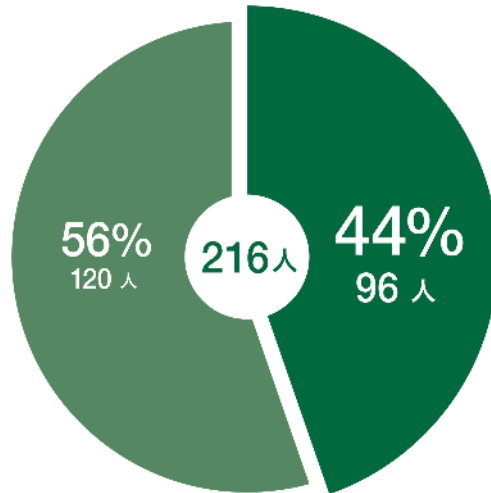
出典：日本ライフセービング協会 ANNUAL REPORT

ライフジャケット着用時の生存率

ライフジャケット着用者の生存率は9割
非着用者の生存率は4割

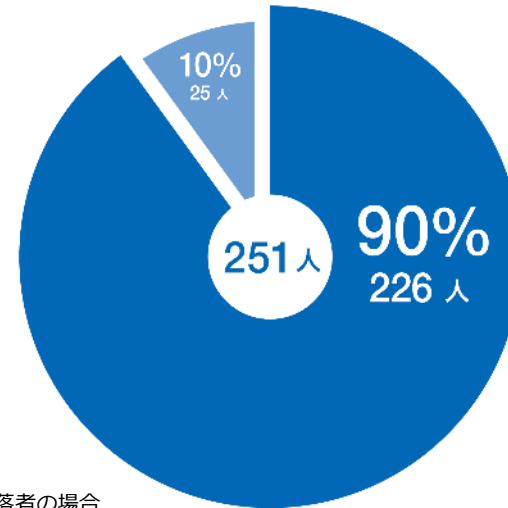
 **非着用者の生存率 (平成28年)**

■ 非着用生存者 ■ 非着用死者・行方不明者



 **着用者の生存率 (平成28年)**

■ 着用生存者 ■ 着用死者・行方不明者



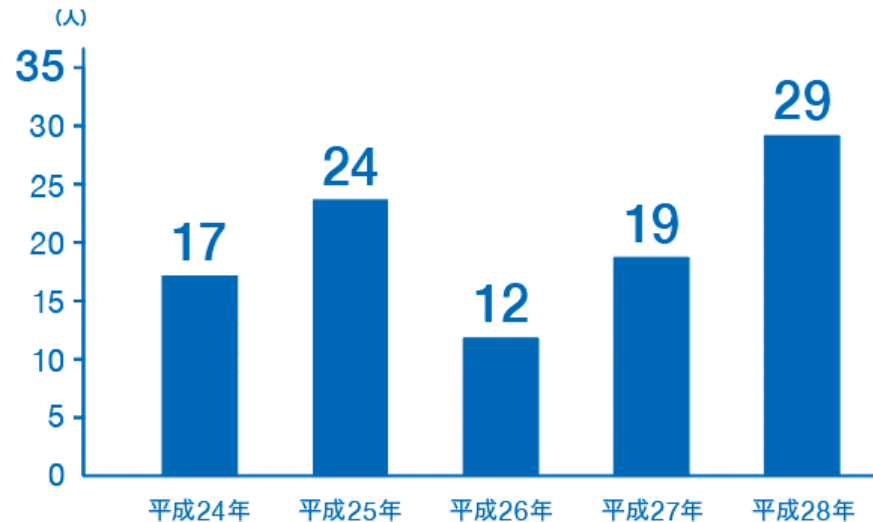
平成28年度、船舶からの海中転落者の場合
海上保安庁「平成28年 海難の現状と対策」 p.96

よくある事故事例 – 飲酒 –

「飲酒をして遊泳」の死亡事故者数は増加
 危険な行動のうち「飲酒をして遊泳」した人の
 遊泳中の死亡事故者数は増えている

7月～8月 遊泳中の死亡者

飲酒あり 5年推移 



データ分析対象：海上保安庁「海難の現況と対策」
 過去5年（平成24年～28年）7-8月遊泳中の死亡事故405名で検証

水辺の事故を防ぐために必要な 「3つのそなえ」

3つのそなえ

① 知識の「そなえ」

例えば、人は一瞬で溺れてしまうことや、海でやってはいけないことを知る

② 行動の「そなえ」

例えば、誰かが溺れていたら「助けに行かない」「すぐに通報」

「浮き具を投げる」などの、万が一のときの対応策を身につける

③ 装備の「そなえ」

例えば、ライフジャケットなどの個人用浮き具を着用する

日本財団の今後の取組み

海（水辺）のそなえ普及活動の推進を行う プラットフォームの立ち上げ



個人用浮き具着用の推進
(イノベーションを
活用した新しい浮き具の開発)



海（水辺）のそなえ体験
イベントの全国展開



海の安全に関する
意識調査を親世代を
中心に全国的に実施



海外における
海のそなえ事例の比較調査



海（水辺）の
そなえモデル自治体の創設

ご協力者様への感謝



海上保安庁
JAPAN COAST GUARD



警察庁
National Police Agency



海上保安官の語る海への情

